

さいたま市の新時代に向けて

令和5年度施政方針

令和5年市議会2月定例会で清水勇人市長が施政方針演説を行い、市政運営の基本的な考え方や主要な施策などについて説明しました。

施政方針

さいたま市は、政令指定都市に移行し、区制を施行してから20年目の節目を迎えました。この20年間の都市づくりを経て、本市は、人口約134万人の首都圏を代表する大都市へと発展してきました。都市の成長力では、人口の増加数が令和2、3年と連続で全国1位となりました。0歳〜14歳の子どもの転入超過数は平成27年から8年連続で全国1位を維持しています。市民満足度では、本市を「住みやすい」、「住み続けたい」と答えた方は、3年連続で共に85%を超え、過去最高の結果となりました。このような発展は、多くの先達の努力と、皆さんが共に汗をかき、力を尽くしてくださったことの賜物にほかなりません。「上質な生活都市」「東日本の中枢都市」という都市像の実現に向け、市民の皆さんとともに力を合わせ、一歩ずつ着実に歩みを進め本市の未来を全力で拓いてまいります。



市政運営の基本的な考え方

POINT

1 感染症を克服し、真に災害に強いレジリエント^{*}シティを目指す

感染の再拡大に備えた検査・医療体制の整備やワクチン接種の円滑な実施など、引き続き感染拡大を防止する取り組みに全力を尽くし、地域医療体制の充実化などあらゆる事態に対応できる体制の整備を進めます。また、ハード・ソフト一体となった防災対策に、市民や事業者の皆さんと一丸となって取り組みます。

※レジリエント…強くてしなやかなさま
回復力、弾力があるさま

POINT

2 ポストコロナの新たなさいたま市の創造

新たに求められるニーズに的確に対応しながら、環境、健康、スポーツ、教育、交通の要衝、災害に強いなどの魅力に一層磨きをかけて、本市らしさを深化させます。新庁舎整備及び現庁舎地の利活用策の検討など、本市の輝かしい未来に向けた歩みを着実に進めるとともに、東日本連携の積極的な推進により東日本全体の活性化に取り組みます。

POINT

3 誰一人取り残さず、誰もが住みやすく持続可能な地域社会の実現

「誰一人取り残さない」というSDGsの理念を基に、多様化する人々のライフスタイルに合わせて、「子育て楽しいさいたま市」や高齢者が生涯現役として暮らせる社会、安心して暮らせる地域社会の実現など、あらゆる世代が輝けるまちづくりを進めることで、誰一人取り残さず、誰もが住みやすく持続可能な地域社会の実現を目指します。

POINT

4 新たな時代に対応する市役所の創造

デジタルファーストな行政運営への転換を図り、市民の皆さんに、よりスピーディーで利便性の高い行政サービスを提供するとともに、相談窓口等では気持ちに寄り添ったきめ細かな支援を行っていきます。また、多様な働き方を実現し、市民の皆さんはもとより働く職員も幸せになる「Well-being^{ウェルビーイング}経営（しあわせ経営）」に取り組みます。加えて、さまざまな分野において公民学共創を進め、新たな時代にふさわしいさいたま市役所の創造につなげます。

令和5年度当初予算編成にあたり重視した**4つの柱**

令和5年度当初予算は、ポストコロナを見据え、本市の新時代へのシナジに取り組む予算として編成しました。予算編成にあたって重視した4つの柱に沿って、令和5年度の主な事業の一部を紹介します。

感染症や自然災害に備えた強靱な都市づくり

市民の生命及び健康を守るため、感染症に係る対策を着実に推進します。また、激甚化する自然災害への対策として、都市・生活インフラの耐震性の確保や、治水対策などを推進します。



- 主な事業**
- ・新型コロナウイルスワクチンの接種体制の確保
 - ・在宅療養者の相談対応やパルスオキシメーターの配送
 - ・治水対策施設の整備推進 ・橋りょう耐震化の推進
 - ・市立中学校体育館への空調機整備等の推進

ポストコロナを見据えたさいたま市の魅力づくり

新たなニーズを的確に捉えながら、ようやく兆しが見えつつあるポストコロナを見据えた本市の魅力づくりをより一層進めます。



- 主な事業**
- ・新庁舎の整備及びさいたま新都心のにぎわい創出
 - ・現庁舎地利活用の検討及び浦和駅周辺地区のまちづくりの推進
 - ・大宮駅グランドセントラルステーション化構想の推進
 - ・地下鉄7号線の延伸 ・デジタル地域通貨導入調査の実施
 - ・ゼロカーボンシティ実現に向けた地域循環共生圏の構築
 - ・「さいたま国際芸術祭2023」の開催
 - ・政令指定都市移行・区制施行20周年記念事業の実施

誰一人取り残さない持続可能でインクルーシブ^{*}な地域づくり

社会経済状況が大きく変化し続けるなか、誰もが住みやすく持続可能な地域社会の実現に向けて、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念を基に、インクルーシブな地域づくりに取り組んでいきます。



- 主な事業**
- ・ケアラー・ヤングケアラーへの支援の充実
 - ・医療的ケア児保育支援センターの開設 ・新療育センターの整備
 - ・ひまわり特別支援学校知的障害教育部門高等部の開設
 - ・3歳児健康診査における眼科屈折検査の実施
 - ・高齢者等の移動支援及び身近な公共交通の充実

^{*}インクルーシブ…多様性を認め、互いを尊重し合い、支え合うこと

公民学共創と質の高い市役所づくり

多様化する市民ニーズや新しいライフスタイルに対応するため、本市のDXのコンセプトである「さいたまデジタル八策」に基づく取り組みを推進します。また、多様化・複雑化する行政課題に柔軟に対応するため、公民学共創を推進し、質の高い公共サービスの提供を目指します。



- 主な事業**
- ・窓口手続のオンライン化拡充
 - ・LINEを活用した情報発信の強化
 - ・キャッシュレス決済の対象拡大
 - ・働きやすい職場環境整備の推進
 - ・Park-PFIを活用した公園整備

令和5年度当初予算額の内訳

市民一人あたりの予算は約50万円です

※一般会計予算6,690億円を、令和5年3月1日現在の住民基本台帳登録人口133万8,623人で試算した金額です。

全会計合計 1兆1,289億円 (+3.4%)

一般会計 6,690億円 (+5.0%)

福祉、教育、医療、道路や公園の整備など、市のサービスを行うための会計

特別会計 3,244億円 (+0.2%)

国民健康保険や介護保険など、一般会計とは区別される事業の会計

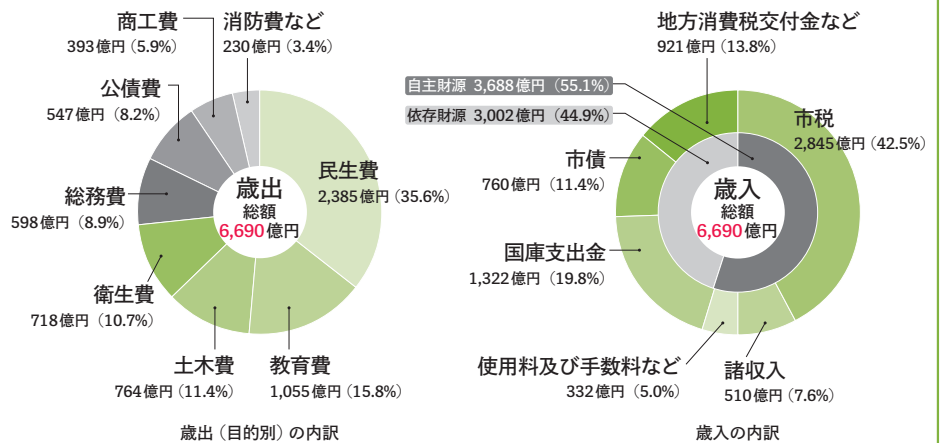
水道事業会計 515億円 (+4.9%)

病院事業会計 337億円 (+9.2%)

下水道事業会計 503億円 (▲0.6%)

※ () 内は前年度比です。

一般会計の内訳



詳しくは、財政課へ。TEL 829・1153 FAX 829・1974



上質な生活都市 東日本の中枢都市 の実現に向けて

続いて、総合振興計画が掲げる2つの将来都市像の実現に向けた取り組みとして、「重点戦略」と「質の高い都市経営の実現」に沿って、令和5年度の主な事業の一部を紹介します。

重点戦略1 | 「さいたま」の5つの魅力を生かして、成長・発展する戦略

先進技術で豊かな自然と共存する 環境未来都市の創造

主な事業

- ・見沼田圃の保全と新たな活用・創造の推進
- ・市有施設への再生可能エネルギー設備等の導入 ほか

見沼田圃の保全や活用等に向け、桜回廊を活用した地域のにぎわい創出等に取り組むとともに、より一層の魅力発信に取り組みます。また、公民館への再生可能エネルギー設備等を導入し、温室効果ガスの削減と災害に強い持続可能なまちづくりを推進します。



一人ひとりが“健幸”を実感できる スマートウェルネスシティの創造

主な事業

- ・運動習慣の獲得に向けた健康マイレージの推進
- ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 ほか

ICTを活用し、楽しみながら継続的な健康づくりを支援するため、健康マイレージ事業を引き続き実施します。また、医療・介護のデータから高齢者の健康課題を把握し、健康状態に課題がある方などに対する個別的な保健指導などを実施します。



笑顔あふれる日本一の スポーツ先進都市の創造

主な事業

- ・アーバンスポーツの活性化
- ・次世代型スポーツ施設の整備 ほか

アーバンスポーツを楽しむ環境の整備に向けて、初心者や親子向けの体験機会を提供します。また、デジタル技術を活用し、メインアリーナ・サブアリーナ等からなる次世代型スポーツ施設を与野中央公園に整備するため、整備事業者の公募などを実施します。



子どもたちの未来を拓く 日本一の教育都市の創造

主な事業

- ・不登校等児童生徒支援センター（Growth）の機能強化
- ・市立小学校における35人学級の推進 ほか

令和4年4月に開設した不登校等児童生徒支援センター「Growth」において、ICTを活用した不登校等児童生徒への支援の充実を図

ります。また、市立小学校の35人学級を推進するため、教室改修等により教室を確保し、教育環境の整備を行います。



ヒト・モノ・情報を呼び込み、東日本の未来を創る対流拠点都市の創造

主な事業

- ・さいたまセントラルパークの整備の本格化
- ・東日本連携の推進による地域経済活性化 ほか

広域的な防災拠点の要としての防災機能を有し、地区内外から多くの人々が訪れる大規模公園であるさいたまセントラルパークの整備に向けた用地の確保に着手します。また、東日本連携センター（まるまるひがしにほん）において、シティプロモーションイベントや商談会を行うことで、東日本全体の地域経済活性化を図ります。



重点戦略2 | 未来に引き継ぐための持続可能なまちづくりを進める戦略

子どもから高齢者まで、あらゆる世代が輝けるまちづくり

主な事業

- ・多子世帯子育て応援金給付の実施
- ・認知症の人にやさしい地域づくりの推進 ほか

多子世帯の育児の経済的負担を軽減するため、第3子以降の子どもが生まれた家庭に対し、子育て応援金を支給します。また、認知症の方やその家族の支援ニーズに合った具体的な支援につながる仕組みである「チームオレンジ」の構築を目指します。

災害に強く、市民と共につくる安全・安心なまちづくり

主な事業

- ・同報系防災行政無線の充実強化
- ・地域の自主防犯活動や防犯カメラの設置等の支援 ほか

災害時において市民へ必要な情報を迅速に伝達するため、同報系防災行政無線の基幹設備の更新を行い、他の情報配信サービスと連携した情報伝達を実施します。また、自治会による防犯カメラの設置や犯罪統計データを効率的に活用し、地域における自主防犯活動の支援を行います。



きずな 絆で支え合い、誰もが自分らしく暮らせるまちづくり

主な事業

- ・自治会への加入促進
- ・アーツカウンシルの充実 ほか

自治会活動の活性化に向け、ICT活用講座や電子回覧板モデル事業を実施します。また、専門人材による調査研究、文化芸術活動支援等を行うため、アーツカウンシルさいたまの運営を支援します。



今月の表紙

市民ボランティアの広報カメラ協力が撮影した市内の風景を集めました!



激動する新時代に「未来技術」で躍動する地域産業づくり

主な事業

- ・中小企業の生産性・付加価値向上を通じた成長促進支援
- ・就労支援の充実 ほか

市内中小企業のDX推進に向けた支援のほか、新事業への取り組みやスタートアップ企業のブランディング支援を行います。また、求職者向けにデジタルスキルやWebマーケティングの知識等を習得する機会を提供し、市内企業とのマッチングを支援します。

環境に配慮したサステナブル[※]で快適な暮らしの実現

主な事業

- ・一般廃棄物減量施策の推進
- ・サーマルエネルギーセンターの整備 ほか

循環型社会を実現するため、3R[※]に向けた取り組みを推進し、プラスチックごみの更なる資源化に向けた実証実験を行います。また、新たなごみ処理施設として、サーマルエネルギーセンターの建設工事を引き続き実施します。

※サステナブル…持続可能なこと
※3R…リデュース、リユース、リサイクルの略



質の高い都市経営の実現

主な事業

- ・LINEを活用した情報発信の強化
- ・さいたま市『ふるさと応援』寄附の受入拡大 ほか

LINEを活用し、プッシュ型で一人ひとりにあった情報発信を新たに行います。また、さいたま市『ふるさと応援』寄附の受入拡大に向け、クラウドファンディング型ふるさと納税を活用するほか、企業版ふるさと納税の受入拡大に向けた取り組みを推進します。

施政方針の全文については、市ホームページをご覧ください。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

市では誰一人取り残さず、誰もが住みやすく持続可能な地域社会の実現を目指しています。